

ご 挨拶

4月5日、大震災で被害あった体育館で4月5日、本年度のスタートなる始業式を実施することができました。7日には、252名の新入生を迎え、23学級、全校生徒数732名で、平成23年度がスタートいたしました。1年生も徐々に、中学校生活になれ、部活動も始まり第二中学校の一員として頑張っております。

今年も、「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」を第二中学校の学校教育目標にし、

- ① 進んで、学習する生徒
- ② 健康で、よく働く生徒
- ③ 礼儀正しく、思いやりのある生徒

を育てていきます。 そのために

- ① 基本的な生活習慣が身に付いて社会常識が通じる学校を目指す。
- ② 生徒個々の学力の向上を目指す。
- ③ 体力向上に努め、さらに心の教育を推進し、健康で健全な生徒の育成を目指す。
- ④ 安全で清潔感にあふれ、整理整頓がなされている学校を目指す。
- ⑤ 保護者と地域の信頼を得られる学校を目指す。

を重点目標にしています。一年間を通して

- ① **基本的な生活習慣が身につくこと、社会常識が通じる学校を目指す。**

- ・ 善悪の判断を筆頭に、正しく的確な判断力を身につけさせる。
- ・ あいさつが自然に心からできるように教師からも働きかけていく。
- ・ 社会常識に基づいた服装をきちんとさせる。腰パンの廃絶。

親や教師などに対して、礼儀正しく接するよう節度とけじめを大切にさせる。

- ・ 給食指導において正しい食文化を身につけさせ、食べ物を大事にする心を育てる。「もったいない」感覚を持たせる。

② 生徒個々の学力の向上を目指す

- ・ 「授業」の改善、誰もがわかり、学びたくなる授業の構築
- ・ ABC 評価(絶対評価・観点別評価・評価と指導の一体化)の実効性のある取り組み
- ・ 教科担任と学級担任の連携による生徒個々の学習意欲の向上を図る。
- ・ 生活ノートの活用による家庭学習の習慣化を図る。

③ 体力向上に努め、さらに心の教育を推進し、健康で健全な生徒の育成を目指す。

- ・ いじめなどが起こらない良質な人間関係をつくれるような高度な心の教育に努める。
- ・ 休まない健康な体づくりに励ませる。
- ・ けがの防止に努め、自分の身を守ることができるような意識を醸成させる。

④ 安全で清潔感にあふれ、整理整頓がなされている学校を目指す。

- ・日頃より安全点検とそれに基づく適切な対応を速やかに図りながら、職員全員が安全への意識を持って教育活動にあたる。
- ・予想される様々な危機（事件・事故）に対する危機管理意識を持ち、対応マニュアルの熟知とその活用を図る。
- ・日頃より活動場所の整理整頓に心がけ、生徒の見本となり、企業などに負けない、いつでもお客を迎えられる清潔な職場づくりを心がける。
- ・学ぶに効果的な教室環境の構成に努める。
（ゴミのない教室・廊下、学習掲示物を生かした環境構成、清掃指導のレベルアップ）

⑤ 保護者と地域の信頼を得られる学校を目指す。

- ・正確で適切な情報をきちんと伝えていく。
- ・保護者や地域の声に耳を傾けて、応えるべきものについて、真摯に対応する。
- ・地域の活動に積極的に参加し、地位とともにある学校という意識を持つ。

**また、生徒が生活する中心の学級経営の充実ため
学級経営の重点目標**

学級経営の基盤は、学級集団の中にあって、
教師と生徒、生徒と生徒の人間関係の高ま

りを追求して、しっかりした学級経営の方針に基づいて教育の理想を実現させるために鋭意努力することである。

- ・一人一人を大切にすること。

学級経営の基盤は、教師と生徒の人間関係を高めていくところにあるが、これは、教師の生徒に対するひたむきな愛によってのみ可能なことである。一人一人の生徒を心から愛し、理解して、その上に立って、一人一人の生徒の幸福を真剣に追求していかなければならない。

※ 5つの場面を大切に！

- ・朝、子どもを迎えてあげる。
 - ・昼、給食を共にする。
 - ・清掃活動を共に行う。
 - ・帰りの会を認め合う場に。
 - ・教室を整理整頓してから退勤
- ・目標を持った生活をさせる。

教育の理想は、人間としての生き方を指導することにある。いかに生きてらよいかは、どのような目標をつくるかによって決まってくる。そこで、学校生活のあらゆる場をとおして学級の生徒一人一人に、その子なりの目標を持った生活態度を育てていかなければならない。

学年の発達段階に応じた課題に対する明確な目標づくりが大切である。

- ・実践力を身に付けた生徒を育てる。
実践力のある子どもを育てるよう、集団の厳しさの中で指導していかなければならない。
 - ・共に喜び、共に泣けるような生徒を育てる。
生徒と生徒の人間関係を高める指導を中心に、それぞれの学級に於いて協力的な生活態度を高めていくと共に、心の通う仲間関係をつくりだすための手だてを考えていきたい。
- ※ 三年間を見通して、卒業式をどう迎えるかを学級経営のゴールとして捉えたい。

など具体的に取り組んでいきます。

生徒には自己の課題をしっかりと把握し、自己を改善し、より自らを向上させようとする意欲的な生活が出来る生徒に育ててほしいと望んでいます。そのためには、まず、基本的な生活習慣を確立し、学校生活や家庭生活において、規則正しい生活を送り、学習や部活動などに計画的・意欲的に取り組み、自分自身や友人を大切にし、すばらしい第二中生として頑張ってもらいたいと思います。

この一年間、教職員一同全力で指導にあたりますので、本校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。